

演題：朝鮮学校への高校無償化排除問題を考える

講師：NPO かながわ外国人すまいサポートセンター  
理事長 裴安 / ペイアン 氏



皆さんは、現在、日本にある約200校の外国人学校の内で、唯一、朝鮮学校の生徒が、高校無償化の支援の対象外となっていることをご存知でしょうか。

日本政府は、「拉致問題に進展がない」「朝鮮総連と密接な関係」などを理由に、2013年、省令により朝鮮学校を無償化の対象から外し、現在に至っています。また、各地方自治体も国の政策に沿って、朝鮮学校への補助金等を停止し、神奈川県も2016年に補助金支給を打ち切っています。

国と県は、朝鮮学校への支援除外は、拉致問題で北朝鮮に対する圧力の一環として、妥当な措置であると主張しています。これに対し支援団体は、この取り扱いは教育機会均等を定めている「高校無償化」法に違反していると考え、早急に是正を求めています。

国連の人権委員会等も、高校無償化等の朝鮮学校の除外は、「差別」であり、国連人権諸条約を批准している日本が条約を遵守すべき点からも、早急に是正するよう、たびたび、勧告しています。

今回は、神奈川・横浜を拠点に外国籍住民や日本人と共に、誰もが共生出来る地域づくりを目指して活躍されている裴安（ペイアン）さんを講師に迎え、この問題を広く深く考えてみたいと思います。奮ってご参加下さい。

《講師プロフィール》

東京都出身の在日コリアン2世。1998年から外国籍県民かながわ会議第1期委員、第2期副委員長を務めた。その他「外国人学校ネットワークかながわ」共同代表、困窮者自立支援団体「一般社団法人インクルージョンネットかながわ」理事などを務め、ともに生きる。

- 主催 神奈川県社会福祉士会 横浜支部 中部連絡会  
日時 2019年11月25日（月）19:00 ～ 21:00  
場所 西区福祉保健活動拠点（横浜市西区高島2-7-1、ファーストプレイス横浜3階 横浜駅東口から徒歩4分）  
定員 約40名／参加費：無料  
締め切り 特にありません。当日に直接来場でも可です。この例会は「ぱあとなあ」関連ではないので、スタンプはなしです。また、他支部会員の方も出席歓迎します。もちろん、一般の方も大歓迎です。  
お問い合わせ 神奈川県社会福祉士会事務局のHPに案内チラシと申込欄があります。  
お申し込み 電話：045-317-2045 FAX：045-317-2046  
E-mail：info@kacsw.or.jp <http://www.kacsw.or.jp>  
または、11月例会幹事：明星圭介（あけぼし）まで、  
電話：090-4399-6945 E-mail: westendk@hotmail.com